

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 平成27年度パプアニューギニア国別研修「教材の質の改善」

(英文) Improvement of Quality of teaching Materials

(2) 研修期間 平成27年11月2日～平成27年12月11日

(3) 研修員数 7人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 石坂 広樹

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：

- ・研修員が帰国後活動する中でEQUITV教材の質が向上し、使いやすいものになる。
- ・研修員の理数科の教科内容の知識が向上する。
- ・研修員のカリキュラムをOBCからSBCに改革する実践的能力が育成される。

指標：

研修員が本邦研修終了時に提出したアクションプランが一定レベルに達成しているか確認される。また、研修員の帰国後2ヶ月以内にアクションプランが所属組織の中で発表される。来年度に実施が予定されているフォローアップ調査までに同プランが概ね実施されていることが確認される。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：

教材・カリキュラムの課題が特定される。

指標：

研修員が研修初期に発表したアクションプラン実施に関する報告、研修中に作成した資料・教材（理科のConcept Mapping・教材案、算数の指導書案・指導案）、アクションプランの「課題」とその「問題点」に関する記述・発表について4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標②：

教材・カリキュラムの内容を改善できるようになる。

指標：

研修員が研修中に作成した指導書案・指導案・アクションプランにある「研修を通して学んだ知識・経験」「自分の部署・自国で実施できそうな対策」の記述・発表の4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標③：

カリキュラムに基づいた教育活動について理解し実施できるようになり，課題解決が可能となる。

指標：

研修員が研修中に作成した指導書案・指導案・アクションプランの「研修を通して学んだ知識・経験」「自分の部署・自国で実施できそうな対策」の記述・発表の4段階評価がB（やや優れている）以上。